

風 大佐中学校だより

令和6年度第4号
文責 大谷忠宏

【学校教育目標】心身ともに たくましい 創造性豊かな 思いやりのある生徒の育成
【めざす子ども像】ふるさとを 愛する たくましい 大佐っ子



令和7年がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いします。

早いもので、令和6年度を締めくくる時期を迎えました。1・2学期を振り返り、今年度がいい形で締めくくれるよう教職員一同、決意をあらにしたところです。よろしくお願い致します。

3年生においては、いよいよ各高校の入学者選抜がはじまり、生徒のみならず教職員も緊張した日々を送っています。生徒が各自の夢の実現にむけて、コンディションを整えるとともに最大限力を発揮していって欲しいです。

2学期終業式と3学期始業式に生徒達に校長から話をする機会があったので、話をした内容を紹介します。それは、『がむしゃらよりは科学的に！』ということです。決して「がむしゃら」がいけないわけではありませんが、「各自の学習の仕方を振り返り、少しやり方や考え方を工夫することで、成果が違ってくるよ。」という話をしました。具体的には次の3つのポイントを紹介しました。①「自問自答」②「インターバル」③「メタ認知」。これは、スタンフォードオンラインハイスクール校長の星友啓氏が動画の中で話をされていた内容を参考に、私がアレンジして生徒に伝えました。

①「自問自答」・・・「学習したあとすぐ、学習したこと自身の頭だけで思い出せるかをテストしてみましょう。漢字をノートに繰り返し書いている姿をよく見かけるけど、その漢字のつくりの意味を考えたり、何も見ないでその漢字が書けるかどうか自分でテストしたりしながら漢字練習すると、学習効果が上がるそうなので、ぜひ取り組んでみてください。」【自分の頭だけを使って学習した内容を思い出すこと（リトリーバルといいます。）で記憶が定着しやすいことがインターネット動画の中で紹介されていました。】

②「インターバル」・・・「学習した内容を少し時間をおいて、勉強しながら定着度をアップします。何も見ないで思い出すなど、脳に適度な負荷をかけることで、より記憶に残るようです。学んだ内容を人に話すことを想定して学習すれば、より効果が上がるということです。」

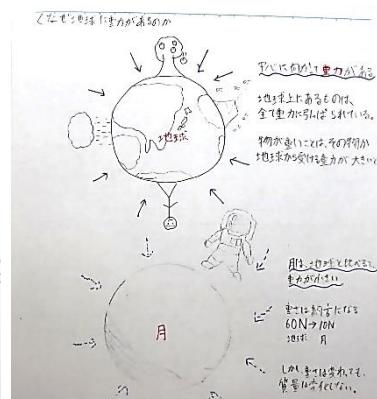
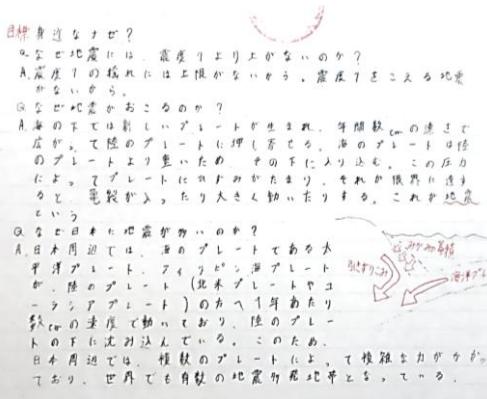
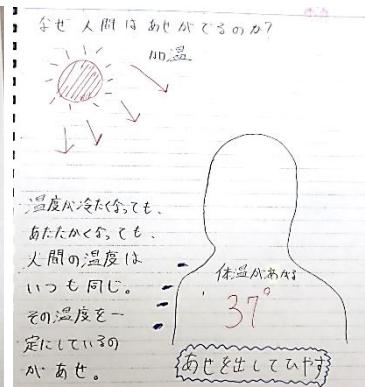
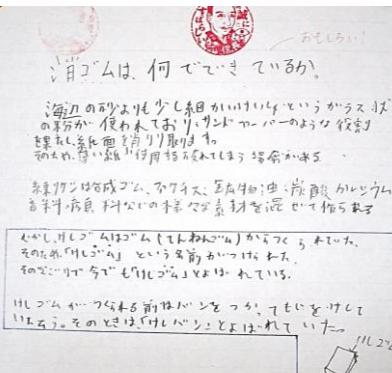
③「メタ認知」・・・「自分を客観的にみる習慣をつけましょう。自分でテストしてみることが記憶の定着に効果があることを言いましたが、分かっていない自分をよく分かっていることが大切で、学びなおしを行えば、さらに学習効果が上がるようです。今、どの授業でも取り組んでいる『振り返り』はまさにメタ認知トレーニングです。」

2学期終業式の「校長のはなし」の内容を3学期始業式で生徒たちが覚えているかをテストしました。複数の生徒が手を挙げてしっかりと答えてくれました。『がむしゃらよりは科学的に！』の学習効果があったのかもしれません。

「問い合わせることを意識した取り組みを紹介！

生徒自身が「問い合わせ」、それを解決するための情報のありかを効率的につきとめ、その価値を判断し活用する力が身につくよう、教科指導や学級活動への取り組みの中で、様々な工夫をしています。

今回、1年生の「自主学習ノート」の取り組みがとても面白いので、紹介をしたいと思います。



「消しゴムは何でできているか？」→（大谷コメント）毎日使っている文房具の中でも消しゴムに着目して調べてくれました。私が小学生のころ、大相撲消しゴムが流行っていて、その後キン肉マン消しゴムやガンダム消しゴムも出てきたのを思い出しました。「なぜ人間は汗が出るのか？」

→（大谷コメント）体の仕組みについて調べてくれました。分かっているようで実は知らない自分の体のしくみ、私も胃カメラで自分の胃の中を覗いてみたとき、驚きました。

「なぜ地震が起きるのか？」→（大谷コメント）理科でも学習する内容です。昨年8月南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。地震に限らず災害が起った時、どうすればよいか、日ごろから何を備えていればよいか？につながるといいですね。

「なぜ地球に重力があるのか？」→（大谷コメント）重力は、地球の引力から地球の自転による遠心力（飛び出そうとする力）を引いたものだ、とすれば北極付近と赤道付近では重力は違うのかなあ？？など

さらなる探究に期待します！・・・。

この他にも、たくさんの生徒が身近な疑問をもとに自主学習に取り組んでいました。これらの取り組みをもとに、いろいろなことを「鵜呑み」にするのではなく、「どうしてだろう？」という疑問をもとに探究していく姿勢が身につくといいなと思っています。

主な行事

2月13日（木）2年生広島平和学習

2月17日（月）球技大会

2月20日（木）PTA理事会、選考委員会

2月26日（水）～2月28日（金）1・2年学年末テスト

2月28日（金）：生徒総会

3月4日（火）：学校保健委員会

3月6日（木）：PTA役員会

3月11日（火）・12日（水）：県立高等学校一般入試

3月13日（木）：卒業式予行、3年生を送る会

3月14日（金）：卒業証書授与式

3月25日（火）：修了式

学校評価保護者アンケート

を昨年末に実施しました。ご協力ありがとうございました。アンケート結果を真摯に受け止め、子ども達のより良い成長のために教育課題の解決に向けて最大限努力して行きたいと思います。

※ 肯定的な回答が多い項目

否定的な回答が多い項目

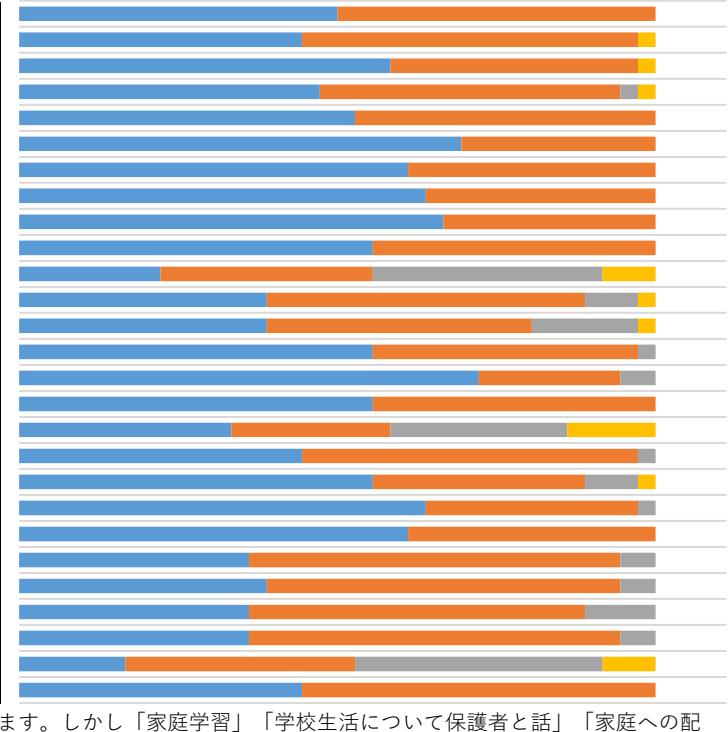
■ Aあてはまる

■ Bだいたいあてはまる

■ Cあまり当てはまらない

■ D当てはまらない

1 学校は、学校の目標や方針などの経営について、保護者にわかりやすく伝えている。	
2 学校は、保護者からの生徒に関する相談に真剣に応じている。	
3 学校は、生徒の学校での様子（ケガや病気、学習状況）について、よく連絡をしている。	
4 学校は、きめ細やかな生活指導や交通指導等を進めている。	
5 学校は、学校ホームページや学校便りなどを通じて、積極的に情報をお伝えしている。	
6 学校は、保護者からの電話や学校訪問時の対応について丁寧である。	
7 学校は、生徒の学力や生活の様子などがよくわかるように「通知表」を作成している。	
8 学校は、生徒が地域交流やボランティアなどに参加する機会を設け、地域に開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいる。	
9 学校は、保護者が授業や学校行事などを参観する機会をよく設けている。	
10 学校は、校内の美化や施設・設備面での環境整備を行っている。	
11 お子様は、家庭学習をしている。	
12 お子様は、学校へ行くことを楽しみにしている。	
13 お子様は、学校生活について、保護者に話してくれる。	
14 お子様は、学校行事（運動会・歌声大会・宿泊行事等）を楽しみにしている。	
15 お子様は、積極的に部活動に参加している。（3年は、引退するまでの期間）	
16 お子様は、自転車や歩行の交通ルールを守っている。	
17 お子様は、学校からの配布物を忘れずに渡している。	
18 PTA活動に、積極的に参加している。	
19 学校からの配布文書（学校行事の文書、通知表、学校便り等）を必ず見ている。	
20 参観日や学校行事に積極的に出席するようにしている。	
21 欠席連絡や生徒の気づいたことは学校に連絡している。	
22 教師は、工夫した、わかりやすい授業に努めている。	
23 教師は、生徒の学力や意欲、努力を適切に評価している。	
24 教師が出す宿題は適量であると思う。	
25 教師は、生徒に寄りそいながら生徒指導をしている。	
※ スマートホンやゲームなど使い方について、家庭でのルールを決め、守らせるようにしている。	
※ 保護者から見て、大佐中学校はお子さんを行かせたい学校である。	



アンケート結果を見ると、多くの項目で肯定的な回答をいただいている。しかし「家庭学習」「学校生活について保護者と話」「家庭への配布物」「スマホの使い方」という項目において課題があるという回答が多くありました。

<改善の方向性について>

【家庭学習】については、例年否定的な回答が多い傾向があります。効果的な家庭学習にするためにも、担当教員から家庭学習の意味をしっかりと伝えたり、主体的な取り組みとなるような課題の出し方を工夫したりしています。この紙面で紹介した「自主学習ノート」もその一つです。生徒が身近な事象に対して自ら「問い合わせ」をたて、情報のありかを効率的につきとめ、その価値を判断し活用する態度につなげていきたいと思います。ご家庭においても生徒の取り組みをご覧になり、励ましの言葉をかけていただくことで、ますます生徒の家庭学習が充実するものと思っています。

【学校生活について保護者と話】について、今、子供たちを取り巻く情報は、メディアを介して得られることが多くなっているのではないかと思います。時にはテレビやスマホから離れて、家族で会話をする時間を充実させる取り組みをしてみてはいかがでしょうか。

【家庭への配布物】すでに取り組んでいる生徒も見かけますが、宿題などの学習プリントの配布物とは別に、保護者あての配布物を1つにファイリングし、そのファイルを保護者が確認するなどの約束事をご家庭で相談し、取り組むことで渡し忘れ防止につながると思います。多くの文書を種分けしファイリングする力は、将来必ず役に立つと思います。

【スマホの使い方】スマホの使い方については、必ず親子でルール作りをして欲しいと思います。とても便利な道具である反面、依存傾向になったり、法に触れる行為等（最近特に闇バイトや詐欺事件の報道が増えたように思います）のきっかけになったり、人間関係がもつれる原因になったりと、陰の部分が多く、一般的に問題が大きくなっている表面化することが多いです。継続して家庭と学校が連携をとりながら子ども達がトラブルの無い使い方を学んでいけたらと思っています。

【自由記述から】

▲「（先生の）丁寧すぎる文言や指導かお願いが曖昧な生徒への発言は不適切！」→指導における場面でも、生徒に対して丁寧な文言やお願いする姿勢が一概に不適切だとは思っていません。ただ、教師の「言葉」・「声のトーン・大きさや速さ」・「表情」などは、生徒との信頼関係を築いたり、適切な指導をする上で、大変重要な要素であると考えています。生徒一人ひとりの人格を尊重しながら、教員として言葉を正しく用いて生徒を導いていくという姿勢を忘れないよう、先日もコンプライアンス研修を行い、教職員全員で確認したところです。▲「学校評価アンケートの設問が適切でない」→ご指摘のように、このアンケートは結果をもとに分析し、改善していくためのものです。保護者が応えやすく、分析しやすい設問になるよう見直しを行いたいと思います。▲「進路指導（主に進学先選択）はどのような時期にどのようなことを考えさせるのか、情報提供していくのか見えてこない。」→「進学先選択=進路指導」とならないよう段階的に学習を進めていくことが望ましいと考えています。キャリア教育の中で、ウェルビーイング・働く意味・自分の適性や生き方を考えての進学先選択が必要だと考えます。そのためには学校だけではなく、地域・保護者の協力が必要です。一番身近な人生の先輩として、ご家庭で生き方について語っていたらことも効果的かと思っています。ただ、学校からの情報提供は適切に行わないといけないと思っています。今年度、3年生の高校説明会とは別に2年生で高校説明会を企画しましたが、生徒にとって大変有意義なものとなりました。今後も適切な進路指導に向けて、計画・実施していきたいと思います。▲「いじめに似た言動が多いと思います。（生徒が）気持ちよく登校できていない」→いじめとは「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものとする。なお起こった場所は学校の内外を問わない。」と（いじめ防止対策基本法）では定義されています。自分が行っている言動がいじめにあたらないかというメタ認知をもとに自分の行動をコントロールできるよう学級活動や道徳、教科指導、部活動等、あらゆる場面で指導し「生徒が行きたい学校、保護者が生徒を行かせたい学校」となるよう努力していきたいと思います。▲「生徒によって（教師の）態度が変わることがある」「教師と生徒が友達関係のようで、授業を教えるだけの存在になりつつある」「他校と比較して、子供たちのやる気を削ぐような発言は控えてほしい」→いずれも、教師の態度や姿勢に関わる貴重なご指摘をいただいたと思っています。教員に求められる資質能力のうち「確かな指導力」では、児童生徒との信頼関係を築き、児童生徒の規範意識や自己肯定感を育成することができる指導力が含まれています。生徒の現状や課題を理解し「学び続ける教員集団」を目指し研鑽を重ねていきたいと思います。

●「いつも先生方からよくして貰い感謝しています。」●「先生方にはお世話になっています。こどもがのびのびと楽しく学校生活を送っていましたようです。」●「いつもありがとうございます。少人数の学校だからこそできることを、子供たちに思い切りさせてもらいたい。」●「先生方には、生徒のため、世の中のために教育の専門家として胸を張って行動していただきたい。」

多くのご意見、ありがとうございました。ご意見の中で、内容によっては個別に対応等をさせていただき、紙面には載せていないものもあることをご了承ください。指摘していただいた意見を謙虚にうけとめ、よりよい学校づくりに努力していきたいと思います。お気づきの点がありましたら、いつでも学校まで連絡いただけたらと思います。

校長 大谷忠宏